

畜産業における人力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	20~21	作業終了後、作業場所から敷地内にある寮に自転車に乗り移動中、前ブレーキを使用したため、バランスを失い転倒し、左足首を骨折した。現場は坂道で、帰宅時は下り坂になっている。	31	1~9
6	11~12	孵卵場工場内で、卵を積んだラック（約120kg前後）を倉庫から引っ張り出して移動させる時、ラックの滑車（鉄）が左足に乗りかかった。その時に本人が慌ててしまい、ラックを再び自分の方向へ戻そうとしたため、再び足を直撃して2回轢かれてしまった。この作業時は安全靴を履かなければならないのだが、履いておらず、普通の長靴で作業を行っていた。	39	100~299
11	14~15	産廃の入った産廃箱をトラックにパワーゲートを使用し積み込もうとした時に、ストッパーを立てていたがゲートから落ちて来たので箱を避けようとしたが、右手の平を箱の角に引っ掛けて負傷した。	41	10~29
12	7~8	競走馬の調教施設内で牧草を降ろしていた所、バランスを崩し、台車に右胸をぶつめた。	67	300~499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html